

●ガバナー 田中 常浩 ●会長 清川 浩幸 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 中村 澄

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第 2243 回 例会 記録

《出席・親睦活動委員会担当例会》

2023 年 3 月 30 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1675

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



《会長要件》西尾会長



皆さんこんにちは、今日は 3 月 30 日です、明日で令和 4 年度が終わります。そう考えると 1 年間とは色々あります。カレンダーでは 12 月 31 日で、会社は決算期で 1 年間が終わります。また、立春から始まり節分で終わる暦もあります。ロータリー年度は 7 月 1 日から始まり 6 月 30 日で終わります。こう考えると、あと 3 ヶ月しか今年度の活動期間がありません。2022～2023 年度の会長方針で「楽しくロータリーをしよう」と目標を立てました。会員の皆さんは楽しい活動ができていますでしょうか？コロナ過の中でも出来ることがあったと思います。残りの 3 ヶ月間は自分で掲げた目標を達成出来るようにロータリー活動を自分が楽しみたいと思います。どうか、皆さんも残り 3 ヶ月楽しんで活動して頂きたいと思います。

本日の例会は、出席・親睦委員会担当例会です。出貝委員長には先々週の例会で出貝会員の会社の事業について卓話をして頂き今日は出席・親睦委員長として 2 回連続でのお願いになって大変申し訳ございません。今日の担当例会も素晴らしい内容ですので、よろしくお願い致します。

《委嘱状伝達》



2023-2024 年度地区補助金委員 西尾会員

《幹事報告》伊藤副幹事

今朝ほど次週の例会で使う資料をプリントアウトして持ってきてくださいとメールいたしました。自宅でもプリントアウト出来ない方は事務局までお知らせ



《出席報告》出貝委員長



正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 6 名を含む 20 名。出席率は 71.3%です。

ください。

・米山梅吉記念館より館報、ザ・ロータリアン英語版、サイクルアイが届いています。事務局に置いています。

・蕪嶋神社様より蕪嶋神社例大祭と蕪島祭りのご案内が来ています。蕪島祭りは 4 月 15 日、16 日、16 日 11 時より臨時の例大祭を行います。本当の例大祭は 4 月 22 日 11 時 30 分より行います。

・地区から RLI の案内が来ています。出席を希望される方は事務局まで。

《ニコニコボックス》松橋副委員長

清川会長：本日は出席・親睦活動委員会担当例会です。出貝委員長よろしくお願ひいたします。

松田会員：出貝委員長よろしくお願ひいたします。

西村会員：出貝委員長宜しくお願ひ致します。

西尾会員：出貝委員長よろしくお願ひいたします。



《出席・親睦活動委員会》出貝委員長



出席・親睦活動委員会委員長の出貝です。本日も前回の会員卓話に引き続きになりますが、担当例会としてロータリーの親睦と親睦活動について発表させていただきたいと思ひます。今日も事前に資料をお渡ししていますが、パワーポイントを使って画面を見ながらやって行きたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

私が出席・親睦活動委員会の委員長になって、正

直最初はどういう委員会なのかなと感じていましたが、今回ロータリーの親睦と親睦活動について色々調べて、私自身も勉強になりました。そのまとめを資料を見ながらご説明いたします。文章が多くなっていますがお付き合いください。

「ロータリーの親睦と親睦活動について考える」現在、出席・親睦活動委員会として活動しておりますが、あらためて、ロータリーの親睦とは何か？を基本的な所から見つめなおして、私自身が勉強するのと同時に、今後どのような形でクラブ内の親睦を深めて行ったら良いのかも考えてみることにしました。また、クラブ内での親睦活動をもっと活発化するために、色々な親睦活動を皆さんにご紹介し、新たな親睦活動を行っていくための基盤づくりの手助けをしていきたいと思っています。また、ゆくゆくはクラブ内に留まらずクラブ外までその親睦活動を広げ、出来るだけ多い人数での親睦活動が出来るのならもっと良いのかなとも思っています。

次年度の出席・親睦活動委員会の委員長さんは西尾さんとなりますので、クラブ内の親睦を深めるための土壌作りと、親睦活動を活発に行っていくための基盤作りを、今から色々と考えて実行していき、次年度の西尾委員長に引継ぎできればと思っています。

まずは、なぜ「親睦」が必要なのかを考える。「親睦」はあくまでロータリーの土壌であり、基盤である。



「親睦」と「奉仕」という言葉はロータリー活動の中でよく聞く言葉です。この2つはロータリーの2本の柱と言われているのは皆さんすでにご存じかと思いますが、私自身の勉強のためでもありますので、あらためてご説明させていただきますので、お付き合いの程よろしくお願ひします。

この親睦と奉仕については、色々な文書で説明がされていました。その中から、「ロータリーの運動の実体を見事に表した言葉として、「入りて学び、出でて奉仕せよ」という言葉があります。世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、一週一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分ちあいの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心を持って育まれてきます。この例会における一連の活動の事を「親睦」と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想とされるロータリーライフです。」と説明されています。

この文章を読み、私なりに解釈すると、いわゆる事業の事でも、家庭の事でも、なんでも、悩み事や相談事があれば、ロータリーの仲間にもまず相談して見なさい、ということだと思ひます。色々な業種の方が集まっているロータリークラブですから、まずその場で相談することで、親睦にもなるし、悩み事が解決に向かえば、友情が深まるし、親睦も深まっていくと思ひます。そこで完全に解決に至らなくて

も、自分自身マイナスになることはなく、相談することで何かしらプラスになって行くと思ひます。そして、このようなクラブ内での活動、行動を通じて行われた「親睦」がすなわち「奉仕と心の形成」であり、「理論構築」、「ロータリー活動の原因」となります。そして、これらの事を行う場合は、「例会」であるという事です。そして、クラブの外の過程、職場、地域社会、国際社会においても、「奉仕活動の実践」を行うことで、「ロータリー運動の結果」となるという事です。ただその一方で、「親睦」はロータリーの全てではない、とも語っています。親睦はあくまでロータリーの土壌であり、基盤だという事だという事です。そして、「楽しいだけがロータリーではない。しかし、楽しくなければロータリーではない」という言葉もある通り、悩み事、相談事だけをやる集団でもなければ、親睦活動だけをやる集団でもないという事だと思ひます。そして、「ロータリー精神は親睦と奉仕の調和の中に宿る」と言われる通り、奉仕の心を育む原動力として、会員相互の親睦は決して欠かす事の出来ない大きな要素だという事です。親睦と奉仕は相互関係にあるのではなく、相互に支え合いながら回転する二枚の歯車であると思ひなければならぬという事です。

私自身も今から出来る事として、まずは、一週一回の例会に参加し、皆さんと話をすること、それが親睦の第一歩と考え、その中で自分の事を知ってもらう為に色々な役割をこなして行くのと同時に、自分の事を色々発信していき、知ってもらわなければならないと思っています。その行動の一つとして、親睦活動であったり、クラブ内の活動に積極的に参加していかなければならぬと思っています。

ネットで検索したら『奉仕と親睦で結ばれて』国際ロータリー会員調査の結果からロータリーの現状と今後の方向性を探る」というものがありました。詳しく読んでいくと長いですが、その中から「ロータリー会員を対象とした最近の年次調査で、回答者の45%が、ロータリーにとどまり続ける理由として「友情」を挙げています。また、ロータリーを通じて友人とのつながりを維持できることについては、84%が「満足している」とこたえています。さらに、回答者の42%がロータリーに留まる理由として「地域社会に貢献する機会」を挙げており、ロータリー創設者ハリスがそれを知ったらきっと喜んだことでしょう。」とあります。アンケートを実施した結果を基に書いてあります。「ロータリーの会員基盤：スナップショット」という所には、男性ロータリアンの平均年齢65才、女性ロータリアンの平均年齢59才、ローターアクトの平均年齢(男女)25才、全ロータリアンのうち女性が占める割合24%、全ローターアクトのうち女性が占める割合50%というデータもあります。続けて「自分のクラブについて好きな点」として友情と親睦、卓話で新しい知識を学べる事、興味深いトピックに関するディスカッション、地元で奉仕活動に参加する機会、ハイブリット式例会(多様な卓話ゲストを招くことができる。対面式での出席が難しい会員も参加できる)とあり、その反面「好きではない点」として、対面での交流がないバーチャル例会、リーダーが頼りない・無反応、卓話の内容

に自分との関連性や関心がない、時間管理が出来ていない（開始・終了時間が遅れる）、派閥、排他的で多様性がない、儀礼や不必要な形式的慣習（祈祷、斉唱など）となっています。

下の方に行きますと「データから学んだこと」として、新会員の積極的参加を引き出す方法：例会でなんらかの役割を担当してもらい、ほかのクラブ会員に紹介する、委員会やプロジェクトでリーダー的役割を務めることを勧める。とあります。私もまだ入って3年目なのですが、新会員が退会するリスクが最も高い入会後の期間は、1年から3年というデータも出ています。なのでこれから入ってこられる皆様には、すごく気を使ってというか、教えながらというか、悩み事があれば相談に乗るという形で接していきたいと思います。

次は「良き親睦」になるためにどうすべきか考えるです。「ガイ・ガンディーカ RI 会長の言葉」親睦について色々と調べていた中で、1923-24 年度の RI 会長、ガイ・ガンディーカという方が次のように語っていました。「良き親睦は、決してロータリーのすべてではないのであって、良き親睦は、ロータリーという苗木が根をおろし、成長するための土壌をなしているのである。」これは、ロータリーという苗木が立派に成長していくためには、「ロータリーの志を共にする者同士の仲間意識」を強め高め合う「親睦」という栄養に満ちた土壌が必要である、という理解がされています。またさらに言い換えると、ロータリーに入会し、知り合い程度の交友が友情で繋がり、やがて志を同じくする仲間となり、互いに語り合い、切磋琢磨し、協力しながら、ロータリーの理想達成を目指す仲間意識を強め高め合うことが「ロータリーの親睦」である。という事です。その方はさらに、「良き親睦」を形成するものとして、7つの項目をあげています。1. 真心のこもった握手 2. 姓ではなく、名前呼び合う事 3. 歌の合唱を行う事 4. ある種の、ウェットに富んだ行動 5. 各会員相互間に行われるその他の親切 6. 議長、同僚たる会員及び招待者に対する礼儀正しい行動 7. 老練な企業経営者にして初めて出来る、紳士の振る舞いと思慮深さ、という事が書かれています。この項目の一つ一つは毎週の例会で実施できることだと思います。ただ、今現在私がそれを出来ているかを見直すと、それが出来ていないという状況になっています。また、それはクラブの中での活動でもそうですが、クラブの外での活動でも同じことが言えると思います。まずはこの7つの項目を理解して頭に入れ、そこからクラブの皆さんとの親睦を深めていかなければならないと感じています。写真はガイ・ガンディーカ RI 会長です。皆さんはすでにご存じだと思いますが、ガイ・ガンディーカ RI 会長は、ロータリーで初めての文献となるものを残した人物としても有名な方です。また、関東大震災が起こった年、東京の震災復興に多大に貢献した方でもあります。



次に「親睦活動」について考える、親睦活動の考え方とクラブ内とクラブ外の同好会、親睦活動についてです。「親睦」については、前頁まではある程度

説明しましたが、親睦と親睦活動というものを混同しないようにしなければなりません。ゴルフや花見会、納涼会等の親睦会に参加する事は親睦活動であって、ロータリー本来の柱の「親睦」を高める為の手助けになることは間違いはありませんが、親睦活動が親睦の全てではないですし、親睦活動委員会の任務も親睦会の幹事だけを行えば良いというわけではありません。全頁までで説明した親睦についての考え方を私自身もっと理解し、行動しなければ、今後何かしらの親睦活動を行ったとしても活動の効果が得られないような気がしています。

以上の考えを持ちながら、当クラブ及び他クラブの合同会及び親睦活動をご紹介します。と思います。

まずは、八戸南ロータリークラブの同好会及び親睦活動という事で、同好会（親睦会）として南風会があります。ゴルフとか麻雀などを楽しむ会です。親睦活動としては、スポーツ大会、お花見、納涼会、クリスマス会、年度末慰労会等が行われています。他のクラブの同好会のご紹介として、東京中央ロータリークラブをご紹介します。と思います。（画面）これが東京中央ロータリークラブの親睦活動で、同好会が結構な数あります。一つ一つ紹介していきますと（各同好会の紹介）このように色々とあります。このような同好会の数を増やして作るのもいいのではないかと思います。ご紹介したクラブのように会員数が多ければ、同好会も沢山作れますが、こちらの方の人数の少ないクラブではここまでは作れないと思います。ただ、1人一つしか入れない同好会ではなく、何個でも入れるような同好会であれば、数多く作っても良いのではないかなと思いますし、人により色々な趣味をお持ちだと思うので、同好会の種類もそれなりの幅を持たせた方が良いのかなと思っています。

次に「国際的な親睦活動について」、ロータリー親睦活動グループというものがありますのでこちらもご紹介したいと思います。（画面で説明）動画もありますが時間もないので省きます。ご紹介したのは国際的な親睦活動グループなので、参加するとなると中々ハードルが高いかと思いますが、先ほどの東京中央ロータリークラブの活動と合わせて、参考にして、一つ二つくらい増やしても良いのかなと思いました。

色々とお話してきましたが、親睦と親睦活動についてのまとめになります。

「一週一回の例会に参加する」まずはそこから思っています。自分自身もそうですが、参加されていない方にも積極的に参加を促し、会員の皆が仲良くお話しできればと思っています。

「自分自身の事をしってもらう」特に新入会員の方には、自分のプロフィール等を紹介していただき、また、既存会員の皆様にも自分の紹介を積極的に行ってほしいと思っています。

「悩み事があれば相談する」悩み事があつたら、まずはクラブの方へ相談できるような、『雰囲気作り』を皆でしていかなければならないと思います。特に新入会員の方にはそれを積極的に伝えていかなければならないと思います。

「7つの項目を実践する」良き親睦を形成する7つの項目をやってみて、クラブ内で仲間意識を持ち、何事に対しても相談しやすい環境を作ることが大事だと思います。

「同好会を増やす」現在、南風会しか同好会がないので、他クラブの親睦活動を参考に、同好会を増やしてみても良いかと思いました。

「親睦活動を増やす」コロナもある程度落ち着きましたので、現在の親睦活動のほかにも色々と考えて、活動を増やしていき、ワクワクするような内容や、例会にしていければ良いのかなと思っています。

まとめはこれくらいですが、まずは親睦を深めるために私自身の紹介をしたいと思います。前回自己紹介まで出来ませんでしたので、今回時間を取らせていただき、まずは私の事を知っていただき、もっと親睦を深めていければと思っています。(個人情報保護のため会報の掲載は割愛)

という事で私の自己紹介も終わりましたので、機会があれば、また皆さんと親睦を深めるためのお話など出来れば良いなと思っています。

ご清聴ありがとうございました。